



川口盛之助は、一流のイノベーションと競争戦略コンサルタントです。彼は日本の最大手企業の多くにアドバイスをし、幅広い産業企業を支援しています。テクノロジーとイノベーションの管理、市場戦略、製品エンジニアリング、および知的財産管理に関する権威です。川口は Morinoske Subculture 主導の Innovation Model の発明者であり、彼はそれを彼のコンサルタント業務と教育業務の両方に適用しています。

2014年、盛之助は文部科学省直轄の国立研究機関である国立科学技術政策研究所 (NISTEP) と協力しながら、日本政府の科学技術政策立案プロセスに携わってきました (文部科学省)。

Topics

- Future
- Government
- Politics
- Technology

2002年から2013年まで、グローバル戦略コンサルティング会社 Arthur D. Little (日本) のプリンシパル兼アソシエイトダイレクターを務めました。以前は、日本のテクノロジー企業である関西研究所 (KRI) で働いていました。コンサルティング会社 KRI では、製造技術の市場性の評価、技術戦略の構築および知的財産戦略の設定に重点を置いていました。1999年にイノベーションコンサルタントになる前は、日立製作所で15年間シニアエンジニアとして勤務し、そこでいくつかの戦略特許賞を受賞しました。

バイリンガルの講師であり TEDxTokyo、Honda、富士通、NEC、ユニクロ、日産、NTT、Xerox、欧州研究所、また、スウェーデンの年間成長とイノベーションの日「Tillväxtdagen」などの国際会議、政府機関、企業を対象にワークショップを開催しています。彼は、珍しい事件、驚くべき統計、そして感動的な結論で観客を魅了します。Yahoo! ジャパンは彼の TEDxTokyo 講演を世界のプレゼンテーションスタイルとして、トップ5の1つに選んでいます。また、唯一の日本人となっています。

川口は、東京工業大学の大学院プログラム、および、京都の同志社ビジネススクール、グローバルMBAコースの客員教授です。ハーバード大学大学院デザイン研究科、HULT インターナショナルビジネススクール、ロンドン芸術大学、IED Istituto Europeo di Design、EOI スペイン工業大学、東京大学など、世界中の多数の大学やビジネススクールで講義をしています。

彼は、国内外で人気のあるインタビューを受け、The Korea Times、WIRED、ドイツの Die Welt、Handelsblatt、スイスの Basler Zeitung、イタリアの Il Sole 24 Ore など、多くの国際的な出版物で取り上げられています。

また、川口は受賞歴のある作家です。2007年に出版された彼の最初の本、「オタクで女の子な国のモノづくり：テクノロジーとデザインへの日本のサブカルタリストガイド」は、テクノロジーと革新の進歩と発展に貢献する本として、2008年に名高い日経BP BizTech ブック賞を受賞しました。台湾では Great Technology Management Books 2010 のトップ10に入っています。2010年には、世界市場でのポジショニングに関する戦略的ガイドライン、川口の2冊目の著書 The World Acclaimed Made by Japan が出版されています。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988